

議案に対する討論

令和5年度決算に対する討論

このような理由で決算の認定に反対・賛成しました

討論を行った議案

議案第68号及び第69号の 令和5年度決算

令和5年度決算の内容について、
定例会最終日に討論を行いました。
討論の主な内容を掲載します。



反対 日本共産党

【飯塚 正 議員】

一般会計では、総務費において自衛官募集事務を行っている点、マイナンバーカードと国民健康保険証のひもつけ交付事業を推進している点、民生費において敬老会開催事業・ミニデイホーム事業・井頭温泉招待事業の対象年齢を70歳に戻していない点、商工費において工業振興費として企業誘致の促進を図るための補助金交付事業を行なっている点、農林水産業費において認定農業者以外の小規模農業者に対して、農業が続けられる支援策がない点、土木費において農村部における生活道路の整備は依然として区からの要望に対して応じきれていない点、教育費において奨学金を返済しない給付型制度にしている点、小中学校の給食費の無償化が図られていない点が反対の理由である。

特別会計では、国民健康保険特別会計において高い保険税となっている点、介護保険会計において高い保険税となっている点が反対の理由である。

公営企業会計では、水道事業会計と下水道事業会計の公共下水道事業及び農業集落排水事業において使用料金に消費税の上乗せをしている点が反対の理由である。

賛成 もおか新時代

【中村 和彦 議員】

令和5年度は、井頭周辺エリアを「いがしらリゾート」と位置づけ、一体的な活性化を進めるなど、シビックプライドの醸成、シティブランドの強化を図っていったことが1つの特徴として挙げられる。

また、真岡てらうち産業団地や総合運動公園の整備といった大型プロジェクト、さらに中心市街地の再生に向けての複合交流拠点施設の整備や中心市街地リノベーションなど大きな進展が見られた。

一方、福祉の分野では、子ども医療費の助成対象年齢拡大、出産子育て応援交付金支給事業費の拡大のほか、生後2歳未満の乳児を対象とした紙おむつ用ごみ袋の購入助成券の支給も実現するに至ったほか、市内3ヶ所目となるまちなか保健室も開設されるなど、大規模なハード面の開発事業だけでなく、子育て世代や高齢者にも寄り添った施策が展開されたことは高く評価したい。

加えて、顕著な伸びを示したふるさと納税をはじめ、財源確保に大きな成果を上げたことも賞賛に値する。

ただし、真岡市が選ばれるまちになるための「UIターン就業定住助成事業費」などが十分に活用されていないことのほか、小中学生の不登校に対する相談機能体制、そして市職員の研修の充実化などについては、今後見直しが必要な課題であると考えている。

賛成 もおか令和会

【大瀧 和弘 議員】

ICTを活用した学校教育については、児童生徒の学習用端末や電子黒板を活用し、子どもたちの主体的な学びを推進するとともに、市独自の学力調査の実施や、デジタル教材の効果的な活用等により、児童生徒の学力向上に継続的に取り組まれていることに對し、高く評価する。

また、「いちご王国 栃木の首都もおか」のキャッチコピーによる一連のシティプロモーションにより、「いちごと言えば真岡市」というシティブランドの強化が図られたことに加え、「真岡市未来変革デジタル条例」を制定し、デジタル技術を適正かつ効果的に活用した、誰一人取り残さないやさしいまちづくりを推進されていることに對し、高く評価する。

そして、物価高騰が続く中、国の支援策の迅速な対応、「事業者への電気・ガス料金支援」や「プレミアム付き商品券発行支援事業」、「学校給食費負担軽減補助事業」など、真岡市独自の各種支援事業により、市民の生命・生活・雇用を守り抜くことに総力を挙げて取り組み、有効な成果を上げられたことを高く評価する。

最後に市長をはじめ、全職員の各分野での努力に對し、感謝を申し上げるとともに、議員各位のご理解ご賛同をお願いして賛成討論とする。